

傷害保険

賠償責任保険

突然死葬祭費用保険

スポーツ安全保険



写真提供：空手道マガジン月刊「JKF Fan」毎月23日発売 <http://jkfan.jp/>

掛金が改定されました。

対象となる事故 団体活動中の事故
往復中の事故

保険期間

平成24年4月1日午前0時より平成25年3月31日午後12時まで
(申込受付は平成24年3月から)



5名以上の団体で
ご加入ください

加入区分・掛金・補償金額 掛金が改定されました

団体活動を行う5名以上の方々で、加入区分をそれぞれご選択のうえご加入ください。

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (級高)	入院 (日額)	通院 (日額)		
子ども (中学生以下 特別支援学校 高等部の 生徒を含む。)	スポーツ・文化・ボランティア・ 地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 (急性心不全) 脳内出血など 葬祭費用 180万円
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段：団体活動中およびその往復中の補償額 下段：上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億500万円 ただし、身体賠償は 1人 1億500万円	
大人 (高校生以上 65歳以上 の方も加入 できます。)	文化・ボランティア・地域活動 団体員の送迎、応援、準備、片付け	A2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は1人 1億円	突然死 (急性心不全) 脳内出血など 葬祭費用 180万円
	スポーツ活動 スポーツ活動の指導・審判	C	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
	子どものスポーツ活動の指導・審判 ※C区分でも加入可	AC	1,300円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円		
	スポーツ活動 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない方はA2区分	B	1,000円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

※同一団体で1口しか加入できません。中途加入する場合、中途脱退する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入換え、加入区分の変更はできません。
※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

インターネットからの加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。 **Web** スポーツ安全協会 検索

財団法人 スポーツ安全協会 高知県支部 (高知県体育協会内)

〒780-0850 高知市丸ノ内1-7-52 高知県庁西庁舎1階

TEL 088-820-1755

電話受付時間：午前8時30分～午後5時15分
(土、日、祝日を除く。)

保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受け付けております。

この広告はスポーツ安全保険(傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険)、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任特約付帯施設賠償責任保険およびスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際は、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険株式会社までお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社 (担当課) 公務第2部公務第1課 TEL 03-3515-4133 (平日9:00~17:00)

〈共同引受保険会社(平成24年4月予定)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動 日新火災 日本興亜損保 富士火災 三井住友海上 平成24年1月作成 11-T-09434

お問い合わせ先 土佐町教育委員会事務局 電話 82-0483

21

青木幹勇記念第2回全国子ども俳句大会 入選

蝉鳴きて ふとふり返る 夏木立 大豊町中学校 3年生 原 達也

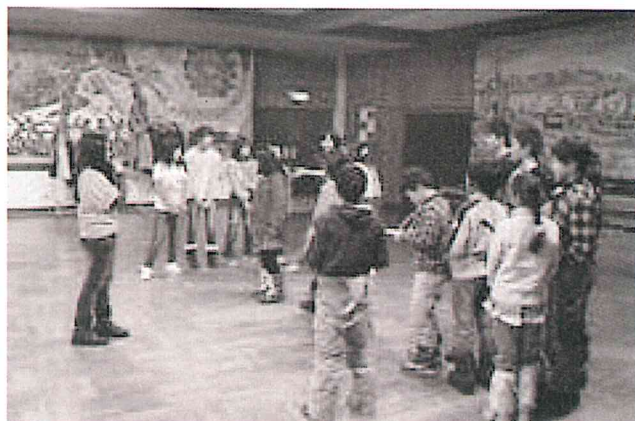
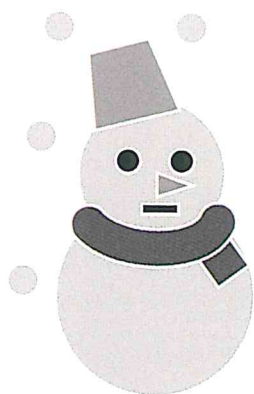
「第25次姉妹都市親善交流使節団」

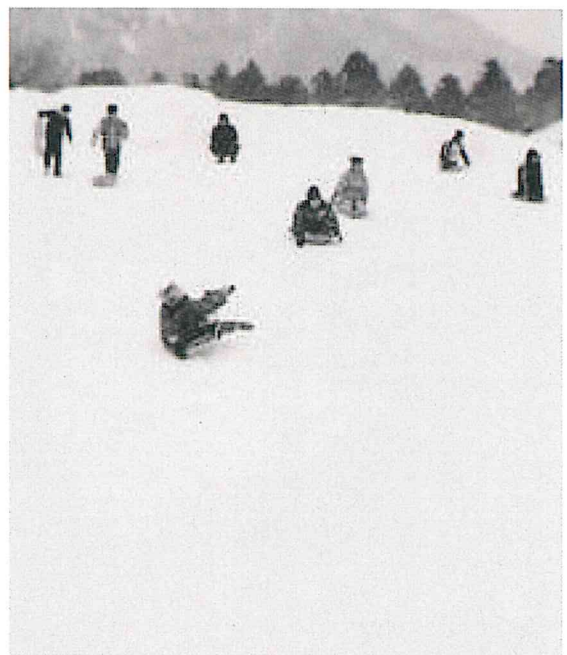
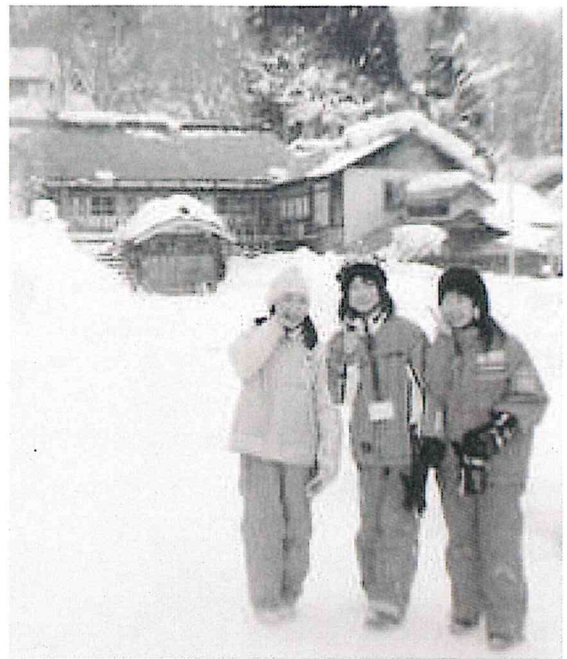
十和田市訪問

2月3日～2月6日

今年も小学生6名（5年生3名、6年生3名）、引率2名の親善交流視察団が3泊4日の日程で十和田市を訪問しました。三沢空港に到着すると辺り一面とてもきれいな雪景色で、子どもたちは「雪やあー」と感激していました。訪問中は、新渡戸記念館の見学、十和田湖温泉スキー場でのスキー体験、観光イベント「十和田湖冬物語」への参加、南部裂織の体験等、土佐町ではできない貴重な経験をたくさんすることができました。また、ホームステイ先の家族と過ごした3泊4日は、家族の一員として過ごし、子どもたちは心温まる交流ができました。

十和田市の皆さんありがとうございました。





十和田湖 ❁ 冬物語



十和田市の思い出

土佐町小学校 5年 川田琉稀



ぼくは、二月三日に青森県の十和田市に行きました。龍馬空港から羽田

空港へ行きました。約五十分くらいで三沢空港に行く飛行機に乗りました。三沢空港に着くと、あたりが真っ白でした。そして、新渡部記念館へ見学に行きました。稲造さんは昔に十和田市に稲生川を作ったと分かりました。昔にトンネルをほるために使われた、道具を持たせてもらいました。中には、十キロもある道具もありました。見学が終わったら、歓迎式へ行きました。歓迎式で最初に自分が今からどんなことをがんばるのかを発表しました。そして、レクリエーションではさくらリーダーと好リーダーといっしょにゲームをしました。レクリエーションでは、目標どおりにほかの人も仲よくなれました。歓迎式が終わると元信君の家に行きました。元信

君の家は山の中にあつて、雪がまわりにいっぱい積もっていました。

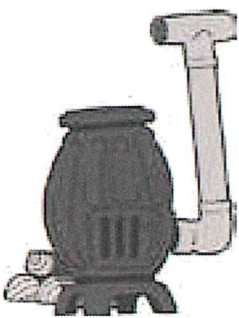
二日目は、八時三十分十和田市役所を出発しました。そして、九時三十分スキー場につきました。スキーぐつをはいて、右だけスキー板をはいて歩きました。思ったよりうまく歩けなかったので、練習しました。次は、両方はいて歩きました。歩きながら、スキー場の乗り物に行きました。ロープをつかんで上にのぼっていきました。あまり上に登れませんでした。上に着いたら下にすべり下りました。最初はこけてばかりだったけど先生にやり方を教えてもらってすべれるようになりました。とてもうれしかったです。スキーが終わると、昼食を食べました。そして、大町桂月先生の墓参りをしに行きましたけど、あまりの雪の多さで、お墓がほりだせなかったそうです。けど石ひだけは、ほりおこされていました。

大町桂月先生の墓参りが終わると、乙女の像や十和田神社を見学しました。十和田神社に着いたら、神社におさい銭を入れてお願いごとをしました。そして、冬物語を見学しました。雪でできた工作がかざられていました。そこには、

ぶ台があつて、そのぶ台も雪でできていました。お店に入って乙女もちを食べました。すぐくおしいかったです。バスに乗って、かく家庭に行きました。元信君の家に帰るとまきストーブがありました。まきストーブのパイプを使って部屋に温かい空気をおくっていました。屋根は、雪がすぐに落ちるように屋根がかたむいていました。家の周りには、雪がいっぱい積んでありました。

三日目は、雪国体験でした。元信君のお父さんやお母さんといっしょに、スキー場に行きました。一回目の時より上手くできたのでうれしかったです。スキーが終わるとお別れ交流会がありました。お別れの言葉を言いました。その時はお別れするのは、つらいな一と思いました。

受け入れしてくれた元信君の家族にやさしくしていただき、楽しい四日間がすごせました。また、十和田市に行きたいです。



また行きたい!

土佐町小学校 5年 森 大河



二月三日から六日までの四日間、青森県の十和田へ行きました。

最初に、歓迎の交流会をしました。みんなからメッセージを受け、次は僕の番でした。だけど、作文を忘れてきていたのでつまりつまりでうまく言えませんでした。琉稀君はすらすら言えていたので、自分はずかしかったです。

僕がお世話になった所は、柏本真拓君の家でした。レクリエーションがすんだ後、帰っている時に、「大河君って料理で何が好き?」と聞かれたので、「お肉とお魚とカレーです。」と言いました。

家に着くと、僕の嫌いな犬がワンワンほえていました。ご飯は、バラ焼き肉とせんべい汁とご飯でした。ご飯の時は、すごく緊張していました。

食事の後、青森の雪で雪遊びを

しました。雪は四十センチくらい積もっていて、歩く時もズボズボと足が雪に入りました。かまくら作りもしました。たくさん遊んでお腹が減ったので、ピザ作りをしました。ベーコン、パプリカ、玉ねぎで作ったピザはとってもおいしかったです。

二日目はスキーをしました。まずは初級コースで遊びました。その次に中級コースに行きました。止まったり、急カーブを曲がったりするのがかなり難しかったです。その次は神社に行きました。最初にお祈りをして、その後乙女の像を見ました。ここはとっても寒かったです。それから十和田湖を見ました。広い湖で、周りは凍りついていてすごかったです。近くにある十和田湖冬物語へも行きましました。冬物語では、かまくら体験をしました。かまくらの中は外より少し暖かったです。その後で、そり遊びをしました。二人で乗ったり、立ったまますべったりするのが特におもしろかったです。

ました。ほとんど僕が勝てたのでよかったです。

三日目は、駒っころランドに行きました。駒っころランドでは、馬にさわったり乗ったりしました。思っていたより馬の乗り心地がよかったです。最後にチューブという、浮き輪のような乗り物で雪の上をすべりました。バランスを取るのが難しくよくこけたけど、スリル満点でした。夜にはお別れ会をしました。十和田の人たちからたくさんプレゼントをもらいました。うれしかったです。さびしい気持ちにもなりました。

あつという間に過ぎた四日間でした。友だちが増えたと、楽しい思い出がたくさんできて本当によかったです。有難うございました。

雪国での思い出

土佐町小学校 5年 和田晃介



ぼくは、今回の十和田市交流使

節団に入っ
て、高知県
のくらしと
十和田市の

くらしをしつかりと見てくるとい
うめあてで十和田市へ行きました。

三沢空港に着くと、雪が二十センチから三十センチくらい積もっていました。ぼくは、さすが東北地方だなと思えました。そして、歓迎会で自己紹介をしようかをして、受入れ家庭へ行きました。ぼくを受入れてくれた藤田家のみなさんは、とてもやさしくてすぐに仲良くなりました。

二日目のスキー体験では、最初はこけてばかりでした。でも、スキーの先生が分かりやすく教えてくれたおかげで、ロープトゥや坂からすべるのもあまりこけなくなりました。そして曲がる練習もしました。曲がる時のこつも教えてくれました。

しばらく練習すると、練習していたところよりもさらに、むずかしいところへリフトに乗って行きました。リフトから見ると雪景色はとてもきれいでした。そして、目的地に着くと、八甲田山をバックにみんなで記念さつえいをしました。そのあといつきに練習したところまですべりました。たくさんすべったあとのトンカツ定食は最高においしかったです。

三日目の雪国体験でわかさぎ釣

りへ行きました。初めて氷の上から釣りをするので、最初は氷がわれないか心配でした。でも氷の厚さは三十センチほどあるらしいので安心しました。

氷の上にテントをはって釣りをしました。始めのうちは、魚のあたりがきてもまったく分からないので全く釣れませんでした。でも、健瑛君のおじいちゃんがあわせ方を教えてくれたので初めて釣ることができました。たまに、いつきに二匹もかかりました。その時はとってもうれしかったです。

わかさぎ釣りのあと、スケートに行きました。初めてはいた、スケートのくつは、とっても歩きにくかったです。でも、氷の上を歩いてみると、いきなりこけそうになりました。なので、はしつこにつかまって練習していました。始めは一周するのが十分くらいだったのに、何回かしているうちに五分くらいで一周できるようになりました。そして、かべから手をはなしてすべってみると、自分が思っていた以上にすべれていたのでもっとも楽しかったです。

短い四日間だったけど、本当に楽しかったです。十和田市がとて

も好きになつて帰りたくないと思
いました。ぼくを受け入れしてく
れた家族のみなさま、ぼくたちの
ためにたくさんのことを教えてく
れたみなさま本当にありがとうご
ざいました。また今度十和田市に
行きたいです。

十和田の思い出

土佐町小学校 6年 川田 恭平



ぼくは今
回の十和
田市訪問で
雪国の大変
な事や十和
田の事など
をたくさん

知れたと思っています。たとえば
テレビでホースに穴をあけてその
穴から水を出して、雪をつもらせ
ないようにしているというのを訪
問前見ていました。だから、ホー
ムステイ先のご家族の人に本当に
雪はつもらないのかを聞いてみる
と、そのホースの水は雪を積もら
ないようにする時もあるけど、逆
にその水がこおって道がツルツル
になつて危ない時もあると教えて
くれました。それに温泉もたくさ

んあると教えてくれました。ぼく
は十和田で二回温泉に入ったけど、
どちらもちがう温泉でした。だけ
ど体を洗う時につかうお湯の出し
方はいっしょだったので、たまた
まなのかなと思つて温泉に入りま
した。

十和田に行つて高知県とはちが
うなと思つた事は、節分に大豆で
はなくて落花生をまくという事が
高知県とは違うなと思ひました。

十和田で楽しかったことは、ス
キー体験と十和田冬物語とワカサ
ギ釣りです。スキー体験は今まで
滑つたことのないようなやわらか
い雪の上を滑りました。とてもフ
カフカの雪だったので、前は出来
なかつたカーブなども出来ました。
下の方でしばらく滑つて、リフト
に乗つて、一回だけ上から滑りま
した。長いコースをすべつた時、
そのコースの中に曲がつた所が
あつて、その曲がつた所を滑るの
がすごく気持ちよかつたです。け
ど、一回しか滑れなかつたのでま
た行つて滑りたいと思ひました。
十和田冬物語では大きい雪の像
にびっくりしました。どうやつて
造つたんだらうと思つて造つた人
はすごいなと思ひました。大きい
かまくらもあつて、中は少し温度

が高いような気がしました。かま
くらを見た後にバラ焼きを食べま
した。少し甘くておいしかつたで
す。その後、花火を見て帰ろうと
言つてもらつたので、冬の花火つ
てどんなんだらうと思ひました。
見るのが楽しみでした。だけど、
足の先がつめたくなつて花火を見
る前に帰つてしまいました。冬の
花火を見れなくて残念でした。

ワカサギ釣りは小川原湖でやり
ました。生まれて初めてドリルで
氷に穴をあけて釣りしました。最初
はけつこう釣れたけど8時くらい
から釣れなくなつて一時間くらい
何も釣れませんでした。だけど、
最後の三十分でその日の釣れるパ
ターンを見つけて、十匹ぐらい釣つ
て帰りました。帰つて数えると
三十匹いて、こんなに釣れたんだ
と思つてびっくりしました。その
釣つたワカサギは天ぷらと塩焼き
にして食べました。サクサクホク
ホクですごくおいしかつたです。

今回の十和田市訪問で貴重な経
験をたくさんしました。生活の知
恵も少しふやせました。大人になつ
たら絶対に十和田に行つてけいた
君にお礼を言いたいと思ひます。

楽しかった十和田市訪問研修

土佐町小学校 6年 長野愛梨



二月三日
から二月六
日まで、青
森県にある
十和田市に
訪問研修に
行きまし

た。
十和田市に着くまでに約三時間、
飛行機に乗りました。

三沢に着くと、バスで十和田市
に行きました。十和田市に着くと
ホームステイ先の人と顔合わせを
しました。その後は、各自家に帰つ
て、家の人と行動しました。

その日は、せんべい汁や恵方巻
を食べました。せんべい汁は、せ
んべいがやわらかくておいしかつ
たです。恵方巻も色々な種類があ
り、おいしく食べました。豆まき
では、らっかせいを投げていたの
でビックリしました。

二日目は、スキーやお墓参りに
行きました。

スキーは、最初、なかなかすべ
れなかつたけど、最後にはこけず
にすべれるようになりました。う

れしかったです。

お墓参りは雪で道がうもれていて、できませんでした。

帰る時には、野生のシカを見て、奈良のシカとは違うなと思いましたが、毛の色や体の大きさなどが違っていました。

十和田湖冬物語では、きりたんぼやクレープなどを食べて楽しく過ごしました。

二日目の夜は、あすかちゃんやお母さんと楽しく話が出来ました。三日目は、自由行動をしました。私達はスケートと馬ソリをしました。

スケートは二回目だったけど、こけてばかりでうまくできませんでした。

馬ソリでは、人が乗っているのを馬がひっぱっていました。馬は、昔、荷物を引っぱっていたそうです。

四時からは、美術館に行きました。美術館では四メートルに達するおばあさんの像や、人の形をしたシャンデリアなどがありました。

美術館を見た後は、お別れ会をしました。お別れ会では、コップとファイルをもらいうれしかったです。

四日目は、みんなとお別れをしてから、なんぶさきおりをしました。きれいなおり物が出来ました。布の色は、明るいレモン色やオレンジを選びました。

その後は、おみやげ選びやごはんなどを食べてから土佐町に帰ってきました。

土佐町に帰ると、もつと十和田におりたかったなと思いました。また十和田市に行きたいと思いました。



たくさく学んだ十和田市訪問研修

土佐町小学校 6年 吉村歩華

二月三日から、二月六日まで青森県にある十和田市に訪問研修に行きました。

出発の日、九時に役場に集合し、バスに乗って高知龍馬空港に行きました。龍馬空港では、お昼ご飯を食べました。

それから、飛行機に乗りました。飛行機に乗るのは初めてだったの

で、すごく楽しみでした。でも乗っていたら、耳が痛くなりました。

羽田に着くと、大きな飛行機がたくさんあつてびっくりしました。

三沢に着いて、バスで十和田市まで行きました。十和田市に着くと、最初に歓迎式をしました。歓迎式には、さなちゃん、さなちゃんのお母さんが来ていました。歓迎式が終わると、ホームステイ先の方の家にしました。

家に着くと、あいさつなどをしてから、お風呂に入りました。

それから、夜ご飯を食べました。ご飯におみそ汁が出てきたけど、トロツとしていて高知とは味付けが違いました。おいしかったです。

その後、さなちゃんの部屋に行つて、たくさん話しをしました。すぐに仲良くなれたので良かったです。それに、ホームステイ先の方は、やさしくしてくれたのでうれしかったです。

二日目は、スキーをしに行きました。最初の方は、うまくすべれなかつたけど、さなちゃんがやさしく、すべり方や雪の上り方などを教えてくれました。おかげで、上手にすべれるようになりました。すべっている時の風の感じが気持ち良くて、楽しかったです。

二日目の夜、雪祭り会場に行きました。雪の中で光るランプや、ハートの形の光などがきれいでした。ソリにも乗りました。ソリには、みんなの手をつないだりして乗りました。

三日目は、自由行動でした。私達は、スケートをしました。馬にも乗りました。馬は、思っていたよりゆつくりで、目線が高かったです。

スケートは、すごくすべるので怖かったし、きれいにすべるのが難しかったです。

それから、美術館に行きました。美術館には、四メートルのおばあちゃんの人形や、人の形をしたシャンデリアなどがありました。

その後、お別れ会をしました。お別れ会では、ご飯を食べたり、ゲームをしたりしました。

四日目は、みんなとお別れ会をしました。私は、せっかくホームステイ先の方達と仲良くなれて、もう少し一緒にいたかったので別れるのがすごく悲しかったです。

お世話になった十和田市の人達に感謝しています。また十和田市に遊びに行きたいと思いました。

平成24年度 土佐町小中学校教職員名簿

土佐町教育委員会 (4月1日)



学校は子どもたちが主人公

多田 哲也 (中教諭)

今西 恵美 (中教諭)

濱田 宜志 (中教諭)

重松 政志 (中講師)

江間 盛男 (中教諭)

神原 美由紀 (中教諭)

野村 晃正 (中教諭)

坂本 佳子 (中教諭)

上崎 宏生 (中主幹)

濱本 智子 (中教諭)

サーシャブルース (ALT)

ダラム 芳子 (中教諭)

朝倉 奈穂 (中養護教諭)

山中 由香 (主幹教諭)

宮本 恵子 (小主任)

三谷 香 (中教諭)

谷サダ子 (特別支援員)

川村 宜嗣 (中教頭)

古谷 睦子 (学習支援員)

田淵 瑞世 (中教諭)

式地 美香 (小養護教諭)

唐岩 隆之 (校長)

山路 頼子 (小教諭)

今井 さゆり (小教諭)

岡林 由香 (小教諭)

上田 雅子 (小教頭)

今井 貴 (小教諭)

藤崎 富美子 (小教諭)

山内 さとみ (小教諭)

宮田 一仁 (小教諭)

小松 和佳 (小教諭)

岡林 千恵 (小教諭)

和田 美津子 (主監)

小澤 孝志 (小教諭)

田中 美奈子 (小教諭)

仁井田 八千代 (小教諭)

横山 伸子 (学習支援員)

森本 和典 (小教諭)

保護者の「日保育者体験」(みつば保育園)

みつば保育園では、昨春秋より園児の保護者を対象に「日保育者体験」を、行っています。3歳児・4歳児・5歳児クラスが対象です。

保護者は自分の子どもとのクラスに入り、絵本の読み聞かせや鬼ごっこなどの遊びを一緒にしたり、お昼寝の寝かせつけをしたりと、さまざまな事を体験しています。給食やおやつも園児と一緒に食べます。

初年度は、二十四名の保護者の方が参加してくれました。受け入れる保育士もドキドキでしたが、子どもたちが嬉しそうにまた、楽しそうに遊ぶ姿を見ることができたこと、そして保護者ともじつくり話をする時間をとることができたことから、この取り組みを行い良かったと感じています。子どもたちもお家で、「お父さん・お母さんも先生になって早くきてよ。」と催促しているそうです。



「順番を待つね！」



「お母さん先生に集まれ〜」



「お父さんはおもちつきの先生！」

体験した保護者の感想

- ・自分の子どもの様子が分かって良かったです。家とは違う面も見ることが出来ました。他の子ども達とも一緒に過ごし色々発見できた事がありました。自分の子どもを育てるのも大変ですが、保育士さんの大変さも分かりました。
- ・大変でしたが、楽しかったです。
- ・ゆっくり我が子とも関われ、園での生活の様子も見れて安心しました。先生とも沢山話が出来てとても良かったです。
- ・友だちとこんな感じに過ごしているのだなと、一日の生活を知れて良かった。家で子どもと過ごす参考にもなりました。

この取り組みは、高知県子育て力向上支援事業によるものです。子育て力の向上、保護者・保育士との相互理解の促進、保育・教育の質の向上を目的としています。

平成24年度も続けて行いますので、多くの保護者の方に体験していただき、子どもたちの育ちを保護者と保育士で共有していきたいと思いをします。



今年も昨年に続きハートブック賞として、親子読書（貸し出し絵本）で100冊を超えた園児を表彰しました。今年はお0歳児から5歳児まで116人中93人いました。（3月15日現在）

3月中にはもう少し増えそうです。年間200冊近く読んでいる園児も沢山います。家庭での読書も年々活発になってきているように感じられます。

保育園では読書活動に積極的に取り組んでいます。家庭での読み聞かせも子どもの心の発達にはとても大切なことです。家庭で1日1冊の読み聞かせを目指して貸出しをしています。保育園児全員が表彰される日もそう遠くなくそうです。

表彰状をもらった子どもたちは、大喜び「ヤッター」とうれしそう、また来年に向かってやる気を起こしていました。

子育て支援センター
ポップ広場

—まわがれ会 開催!—

4月から保育園に入る子どもがいます、働きに出るお母さんもいます、県外へ転出する方もいます。このメンバーでのポップ広場はもう終わります。そこで、自慢の手料理を持ち込んでおわかれ会を開催しました。

ちらし寿司、シフォンケーキ、野菜クッキー など机の上はお料理でいっぱい。

「おいしいねえー」「かわいいねえー」
「作り方を教えて〜」
「4月はぜひみんなであつくりや」
など会話も弾みます。4月から働きに出るお母さん、保育園に行く子どもたちは新しいステージに進みます。子育て支援センターはいつも皆を応援しゆっきえ。



ポップ広場では子育て中のお母さんたちに、「ホッ」とする場所を提供するとともに、学びの場も提供しています。